Small world play

２年前ほどから本園で実施していた活動の一つで、
子どもが集中して遊ぶ姿があった為、テーマにした。

・動物のフィギアを使いながら、その動物になりきって、子ども同士でごっこ遊びを広げていた。
・パーツを上手く使用し、フィギアに家を作っていた。
・世界観を大事にして、他児が加わると、「綺麗にあそんでね」と伝えていた。
・片付けにも積極的に参加していた。

・実際の果物とフェイク果物を見比べて、匂いや感触を確かめながら、水と一緒に混ぜたり、入れたり、移したりした。
・動物のフィギアを使用して、ジャングルに見立てた空間でごっこ遊びをした。
・フェイクスノーを使用し、カップで形を作ったり、パーツで雪だるまを作った。
・ツリーのトレイにパーツ（毛糸、を使用し、オリジナルのツリーを作成した。

６月～２月で計７回行った。
毎回テーマ（蜂（黄色）、天気、水の生き物、ハロウィン、秋（自然）、クリスマス、雪）を変更した。
３～５コーナー用意し、手が濡れる（水、絵の具など）感触を楽しむ（粘土、カラーライスなど）を用意し、テーマは違うが、遊び方が似ている物を用意した。
年齢によっては、チャレンジカード（なん個ある？同じ形にしてみよう等）を用意した。

年度の始めは、水を使ったコーナーや、カラーライスをスライダーで滑らせるといった動きのあるコーナーが人気だったが、回数を重ねる事で、じっくり遊ぶ、粘土や積み木などの、作るコーナーが人気になっていた。